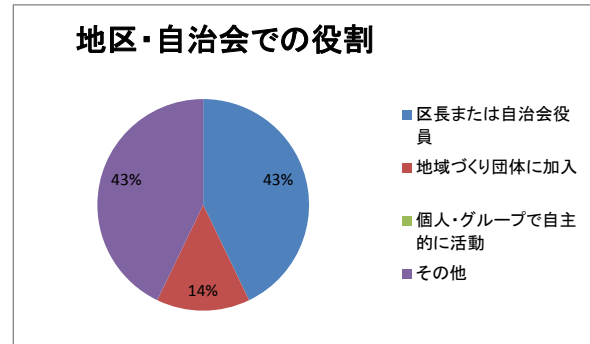
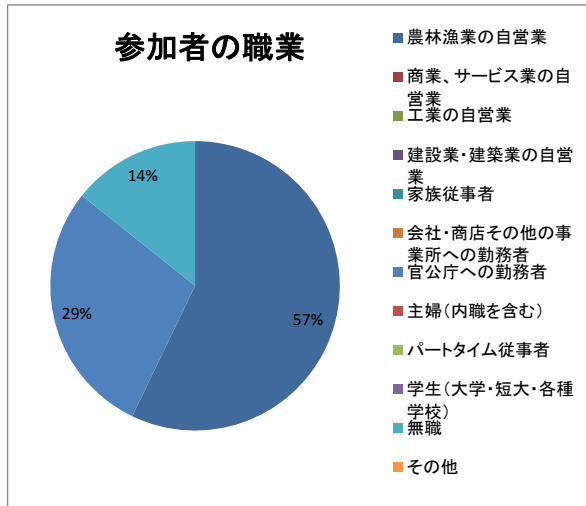
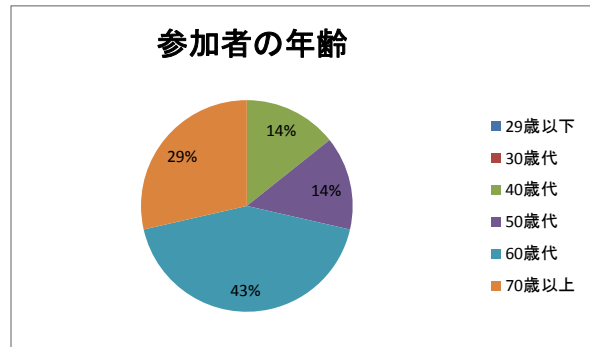
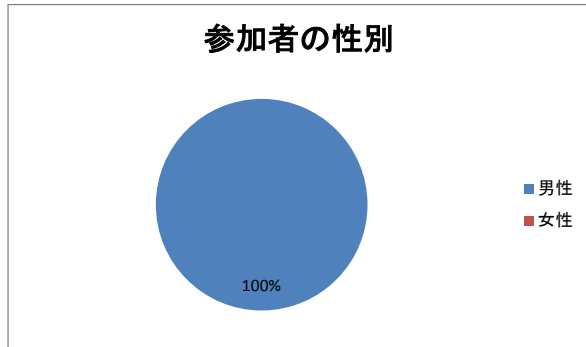


小山地区ワークショップでのアンケート集計結果



自由意見

基本施策は理解するも、その先の具体策が不明(?)わかりにくい。更に結果について反省し、更なる対応策を出して実行しているのか? 結果責任についての意義がとぼしいのでは?

地域の人たち個人個人が地域のことをよく知り、これからどうなるのか、どうなってほしいかをしっかり考えていく必要がある。

地域の取りくみに対し、支援する体制が必要。バイオマス発電で、小山の林業、山の管理はよくなったのか?

高望みせず、欲ばらず、現実を受け入れ、つつましいまちづくり。

きょうの会議は、ワークショップの手法とは違う内容でないか。一般住民に総合計画の目標や施策をその場で説明して評価を求めるのは無理がある。ワイワイガヤガヤと話し合う(今を語り将来を語る)ものかと期待したが、ガッカリである。先行き不透明な時代に、無理して10年の計画を策定してもあまり意味がないのではないか。(せいぜい5年)担当課の皆さんは大変なご苦労があると思うが、地に足の着いた計画としてほしい。自助、互助、共助の必要性は十分理解しているが、市民は公助に期待している。